

2019年度

学校評価報告書

○自己評価

○学校関係者評価 報告書

2020年3月

学校法人 RWF グループ
四国中央医療福祉総合学院

1 学校評価（自己評価・学校関係者評価）目的

実践的な職業教育等を目的とした自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価・公表することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ることを目的とする。

生徒・卒業生、関係業界、専修学校団体・関係団体、中学校・高等学校等（専修学校と接続する学校）、保護者・地域住民、所轄庁など学校関係者等により構成された学校関係者評価委員会等が、自己評価の結果に基づいて行う学校関係者評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、学校関係者等から理解と参画を得て、地域におけるステークホルダーと専修学校との連携協力による特色ある専修学校づくりを進めること目指し実施していく。

本学院では学校評価（自己評価）を規程に定めておらず、実施するだけにとどまり学校運営にも反映されていたとは言い難かった。2020年度からは規程を整備し、自己評価にとどまらず評価プロセスの客観性・透明性を高め、学校運営の改善を図ることを目的に学校関係の方々から評価を受ける「学校関係者評価」を併せて実施することで今後の学校運営に反映していきたいと考える。

1) 組織体制

学校評価の実務担当部署として、学校評価委員会を設置している。また、学校評価に関する実施要綱を定めている。

2) 自己点検・評価の実施期間

2019年4月から2020年3月までの期間

3) 評価基準

5段階評価(1が最低評価、5が最高評価)【1・2・3・4・5】

4) 評価結果の検証・分析

①教育理念・目的・人材育成像

	指標	評価
自己評価	理念・目的・育成人材像は定められているか	4
	学校における職業教育の特色はなにか	5
	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	5
	【評価理由、課題、今後の改善点】 教育理念・目的はオープンキャンパスやパンフレット等に記載している。また、各学科毎にガイダンスの時間を設け周知している。特色としては「よく学び、よく遊ぶ」というモットーを掲げ、実践している。改善点は各種ポリシーを便覧へ記載し、周知を図る	

	評価	ご意見
学校関係者 評価	5	理念や教育目標が明確に定められており、実現に向けて取り組んでいることが分かる。

②学校運営

	指標	評価
自己評価	目的等に沿った運営方針が策定されているか	5
	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	5
	運営組織や意思決定機能は規則等において明確にされているか	5
	人事、給与に関する制度は整備されているか	5
	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3
	【評価理由、課題、今後の改善点】 学校運営に必要な委員会組織を整備し、各委員会は教育目標に基づいてそれぞれの目標設定を行い、計画立案を行っている。各委員会の議事録を回覧し全教員に周知するようにしている。職員間の業務の効率化には課題がある。	

	評価	ご意見
学校関係者評価	4	規則に則って運営されており基本的に問題はないと思われるが、情報システム等の IT に関しては改善が遅れており、今後の課題として取り組む必要があると思われる。

③教育活動

	指標	評価
自己評価	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	5
	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
	関連分野の企業・関係施設等・業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直しが行われているか	4
	関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置付けられているか	4
	授業評価の実施、評価体制はあるか	4
	職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	5
	資格試験の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置付けはあるか	5
	人材教育目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
	【評価理由、課題、今後の改善点】 授業は概ねシラバス通りに実施できた。初年次教育の一環でソーシャルスキル・コミュニケーションスキルの向上に向けた取り組みを行っている。成績評価や単位認定においては明確な基準を設け、会議で協議し判定をしている。改善点は ICT 教育導入により視覚的イメージを持たせながら興味をもって学習に取り組める工夫を行う必要がある。	

	評価	ご意見
学校関係者評価	4	教育活動に関して、特に問題と感じる点はないと思われる。しかし、自己評価の中でも書かれていたように学生に興味を持たせることや理解度をより上げていくためには講義の視覚化は必要と思われ、ぜひ取り組んでいただきたいと考える。

④学修成果

	指標	評価
自己評価	就職率の向上が図られているか	5
	資格取得率の向上が図られているか	5
	退学率の低減が図られているか	4
	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
	【評価理由、課題、今後の改善点】 2019 年度の国家試験新卒合格率は全学科 100%達成できた。また、就職に関しても、就職率 100%を達成している。問題を抱える学生の早期発見、早期対応により退学率の低減は行えているが、退学者はゼロにはなっていない。	

	評価	ご意見
学校関係者評価	4	全学科の新卒者が国家試験に全員合格しており、学習成果として素晴らしい結果である。ただし、卒業に至らず留年した者、また学業についていけず退学に至る者がいるのであれば、その対策が必要であり今後の課題と考える。

⑤学生支援

	指標	評価
自己評価	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
	学生相談に関する体制は整備されているか	4
	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
	学生の生活環境への支援は行われているか	4
	保護者と適切に連携しているか	5
	卒業生への支援体制はあるか	5
	【評価理由、課題、今後の改善点】 進路・就職支援に対し、図書室に求人一覧を設置している。また、各学科で積極的に指導している。学生の出席状況や生活態度等に問題がある場合は、こまめに保護者に連絡をし、保護者と情報共有を行うなどの連携を図っている。	

	評価	ご意見
学校関係者評価	4	学生支援に関して、一定以上の取り組みがあり効果も出ていると思われる。しかし昨今の学生は様々な課題を抱えているため教員としても学生の多様性に対応していく努力が必要ではないかと感じる。

⑥教育環境

	指標	評価
自己評価	施設・整備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備しているか	4
	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	5
	防災に対する体制は整備しているか	4
	【評価理由、課題、今後の改善点】 実習施設・指導者との密な連絡を図っている。実習前には会議を開催して情報交換を行うなど、十分な指導体制を敷いている。防災設備の点検整備は適切に行われているが、防災マニュアルの整備と職員への周知徹底はまだ十分とは言えない。	

	評価	ご意見
学校関係者評価	4	一定以上の教育環境は整備されており、問題はないと思われるが、インターネット環境に関しては整備が遅れているように感じる為、インターネットの環境整備が必要である。

⑦学生の受入れ募集

	指標	評価
自己評価	学生募集活動は適正に行われているか	5
	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	5
	学生納付金は妥当なものになっているか	5
	【評価理由、課題、今後の改善点】 教職員による学校訪問やガイダンス等により、良い関係を構築している。適正な募集や入学選考が行われている。学納金は妥当である。	

	評価	ご意見
学校関係者評価	5	適正に行われており問題はないと思われる。

⑧財務

	指標	評価
自己評価	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	5
	予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか	5
	会計監査が適正に行われているか	5
	財務情報公開の体制準備はできているか	5
	【評価理由、課題、今後の改善点】 少子化等により、以前より学生が減少している学科もあり、それに伴い収益も減少している。改善点は戦略を立て積極的に広報活動を図っていく。	

	評価	ご意見
学校関係者 評価	4	自己評価では最高評価になっているが、現在及び今後の日本はさらに少子化が進むことが明白であり、今後の財務の基盤を安定させるためには少子化の中でいかに入学生を確保していくかということが重要である。現在も入学生が年々減少しているとのことなので早急な対応が必要と考える。

⑨法令等の遵守

	指標	評価
自己評価	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
	個人情報に関しその保護のための対策が執られているか	5
	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
	自己評価結果を公表しているか	1
	【評価理由、課題、今後の改善点】 学則を変更する際には会議を通して、職員全体で確認している。個人情報の取扱について教員相互で注意をしており、学生についても機会あるごとに注意を行なっている。自己評価結果は公表できていないため今後学校ホームページに公開していく予定。	

	評価	ご意見
学校関係者 評価	3	法令等を遵守した運営はなされているが、学校評価（自己評価）に関しては学校運営にあまり反映されていなかったとのこと。今後は自己評価に対し学校関係者評価を実施し、学校運営にも反映していただくようお願いする。

⑩社会貢献・地域貢献

	指標	評価
自己評価	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	5
	【評価理由、課題、今後の改善点】 四国中央市の市民ボランティアセンターと連携を取り、ボランティア活動の推奨・支援をしている。また、実習先との繋がりもあり、施設で行われる季節ごとのイベントでのボランティア活動等も行っている。また、教員がボランティア市民活動協議会の委員もしている。学院に募集のあるボランティア活動については把握できているが、学生自身が自主的に行っているボランティア活動の把握までには至っていない。	

	評価	ご意見
学校関係者 評価	5	外部からのボランティア依頼に関しても可能な限り学院として対応しているとのことであり素晴らしいことと考える。学生個人のボランティア活動にも繋がっていくことを期待したい。

2 評価結果の公表

本学院、ホームページにて公表

3 まとめ

「入学したい」と思える学校になるためにはまずは目指す職業の国家試験に合格できることが第一と考える。2019年度の国家試験新卒合格率においては理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚学科、看護学科、全学科において100%を達成できたことは素晴らしいことと思われる。多様な学生を教育するにあたり、国家試験対策は難しいとは思うが、引き続き国家試験合格率向上への取り組みを継続していただきたい。

学院のモットーである「よく学び・よく遊ぶ」の取り組み、また、初年次教育でのスチューデントスキルやスタディースキルの向上に向けての取り組みにおいても、教職員の努力が伝わってくる。近年の学生の学力低下の課題、また、学生個々の性格を踏まえた対応等、一筋縄にはいかないことが多々あるとは思うが、今後も学校のレベルを上げて学生に還元できるように努めていただきたい。

今後、医療の担い手となる養成機関として、さらなる発展を遂げられることを期待する。